

しまだ議会だより

Shimada City Council Newsletter

平成27年11月定例会の内容をお届けします。

2016
No. 52

平成28年2月15日発行



特集

金谷高等学校
野球部
&
市議会

特集

金谷高等学校 野球部 & 市議会

地域の交通安全のために
カーブミラーを磨く
清掃ボランティア活動に取り組む
県立金谷高等学校野球部の皆さんに
お話を伺いました。



「ありがとう」と

声をかけられることもあり、
嬉しいのです。

県立金谷高等学校野球部には、現在20人の1・2年生部員がいます。

野球部では地域貢献の一環として、毎年12月に学校周辺の道路に設置されているカーブミラーを磨いて回ることが伝統になって続けています。

今回は、去る12月19日に行いました。

《カーブミラー磨きは

何人で行いますか?》

4人で1組、今年は5組を編成し、20人で担当します。各組が脚立や洗剤、雑巾を持って、カーブミラーを磨きに回ります。

それ以外にゴミ拾いもします。

《このボランティア活動を通じて

どんなことを感じますか?》

地域の人たちが金谷高校を見る目もプラスに変わるし、「ありがとう」と声をかけてくれることもあり、嬉しいのです。



《練習で使う島田球場は市の施設ですが、市に対して、何か要望はありますか？》

整備がされていて良いけれど、外野の芝が所々剥がれていたりして、練習の時に使いづらなので、直して欲しいです。

《高校生として「18歳選挙権」を

どう思いますか？》

あまり考えていませんでした。

2年生の日本史の授業や冬休みの課題で選挙に関することを学んでいます。理解を進め、経験を積み、実際に選挙権を使うときに生かしたいです。

《金谷高等学校野球部の目標は？》

最終目標は甲子園なので、そこに近づけるように頑張りたい。まずは春勝利、夏1勝です。地域の人から愛されるチームになりたいです。

《野球部のアピールをどうぞ！》

最近、練習試合にも勝てるようになってきました。

「強くなりたい」という思いがあり、元気にやる時はやれるチームです。

また思いやりもあるチームです。

地域の交通安全に取り組む野球部の皆さん、ありがとうございました。

定例会 の 概要

平成27年度一般会計補正予算可決 新市民病院建設の基本設計費が決まる！

平成27年第4回定例会が、11月24日（火）から12月17日（木）まで、24日間の会期で開催されました。

11月24日（火） 本会議初日

20議案が上程されました

平成27年度一般会計補正予算1件、特別会計補正予算5件、水道・病院事業会計補正予算2件、条例改正8件、指定管理者指定3件、市道路線認定1件の合計20議案が上程されました。

12月8日（火）・9日（水） 常任委員会

議案審査を行いました（7～9ページ）

厚生教育常任委員会・経済建設常任委員会・総務消防常任委員会に分かれて、付託された議案の審査を行いました。各委員会は半日ずつ、3委員会で合わせて1日半をかけ、分散開催しました。

12月2（水）～4日（金） 一般質問

議員15人が登壇しました（12～19ページ）

15人の議員が登壇し、市政を質ただしました。

12月17日（木） 本会議最終日

すべての議案を可決しました（討論と賛否一覧、10・11ページ）

最終日には、3常任委員会に付託された議案の審査内容と結果が3人の委員長から報告されました。賛成・反対の討論の後、すべての議案を可決しました。

12月7日（月） 議案質疑

議員6人が登壇しました（5・6ページ）

6人の議員が登壇し、議案について当局に質問しました。

意見書採択しました（6ページ）

「少人数学級の推進等の定数改善を求める意見書」を採択し、国会などに送付しました。

Pick up 4と、「これに注目！」へ

Pick up 1 第三保育園の改修と待機児童対策は？

Q 第三保育園を希望する待機児童は、園舎改修で解消されるのか？

A 保育園の入園については、優先順位の高い人から順番に入園の案内を行っている。第三保育園を希望する人が必ずしも入園できるわけではない。

Q 受け入れは、いつから始めていくのか？

A 受け入れについては、早ければ3月からでも開始したいと考えている。

Q 現在、地区別・年齢別の待機児童の数は？

A 平成27年10月1日現在で30人である。（地区別・旧島田12人、初倉11人、六合5人、金谷2人 年齢別・0歳児15人、1歳児15人。）

Pick up 2 新市立島田市民病院の建設費は？

Q 躯体くたいの構造・デザインは建設費に大きく影響するが、将来的に積算に正確性が堅持できるための対策は考えているか？

A 基本設計で、設計業者による積算とは別に「※コンストラクション・マネジメント」という手法を導入する。第三者的な視点で建設費をチェックし、適正な事業費の算定をしたい。

※工事遅延・予算超過などを防ぐための第三者による運営管理。

Pick up 3 コミュニティバスの路線と運賃が変わります

Q 今回の運賃の引き上げによる、利用者への影響は？

A 通学で利用する高校生以下の運賃は現行どおりのため、ほとんど影響がないと考えている。

Q 停留所標識の変更は何力所となるか？

A 新設する路線が1路線、変更する路線が6路線、ダイヤの変更のみが1路線である。また、停留所の新設は22力所、見直しによる撤去が43力所、そのうち、38力所は配置替えを行い再利用する。その他の363力所は、シールの貼り替え等により路線図や停留所の名称などの変更を行う。

Pick up 4 田代の郷温泉「伊太和里の湯」指定管理者の指定は？

Q 静岡ビル保全（株）を指定先に決定した理由は何か？

A 指定管理者制度導入による経済的な効果や、地元の関係団体との協力体制を事前に調整してある点などを評価した。

Q この団体への指定管理料はいくらか？

A 平成29年4月の消費税増税時に入館料の改定が行われるのであれば、指定管理料は5年間無料という提案をもらっている。



市民会館の解体が決まりました

市民会館等の解体工事の設計業務に要する経費として、450万円増額の補正予算を可決しました。

なお、解体工事の設計は、解体工事に係る事業費を算出するために行います。

Q 解体工事の財源はどのようにするのか？

A 除却債じょきょくさいという起債の充当を予定している。

Q 解体後はどのようにするのか？

A 解体後の跡地は、当面駐車場やイベント広場、緊急時の避難場所などに活用する。

Q 新市民会館の建設は、現在どのように考えているのか。

A 機能をどのように再生するのか、早期に検討を進めなければならないと考えている。公共施設マネジメントの目的を踏まえ、施設の機能や整備手法を検討する。

芸術・文化の振興拠点だった島田市民会館

昭和42年 鉄筋コンクリート造 地上4階地下1階で完成(築48年)。旧島田市の芸術文化振興の拠点施設として、多くの市民に親しまれてきました。

老朽化が進んだため、平成25年に耐震診断を実施しました。その結果、建築物の耐震性能のランクはⅢ(倒壊する危険性があり、大きな被害を受けることが想定される)とされ、同年10月から休館しています。



解体が決まった現在休館中の市民会館

意見書1件を採択しました

地方議会は、その自治体の公益に関することに ついて、国会または関係行政機関に意見書を提出 することができます。

11月定例会では、提出された意見書1件を採択 し、国会と関係行政機関に送付しました。

少人数学級の推進等の

定数改善に関する意見書

(主旨)

義務教育の水準の維持・向上のため、35人学級の制度化の早期実現を要望する。

※意見書の全文は、市議会のホームページまたは市役所の情報公開コーナーでご覧ください。

常任委員会報告

島田市議会には3つの常任委員会があり、各議員は必ずいずれか委員会に属し、議案審査に当たります。11月定例会の議案審査の概要は次のとおりです。

厚生教育常任委員会

訪問看護・24時間対応 可能な新体制に移行！

平成27年度 一般会計補正予算

●介護サービス提供体制 整備促進事業費補助金

Q 六合地区への整備予定施設の規模と、他の地域への将来の見込みは。

A グループホームが18人、小規模多機能型居宅介護施設が29人規模である。また、同時に公募した島田第二中学校区、初倉中学校区、金谷中学校区は応募者がなかった。平成28年度に再募集をする。

●市民会館解体工事 設計業務経費

Q 解体の財源となる除却債の内容は。

A 公共施設等総合管理計画推進計画に沿って起債対象とし、除却債を充当す



24時間訪問看護ステーションを開設予定の健診センター

る。充当率は75%で、交付金の措置はない。

Q 解体に設計が必要か。法的根拠は。

A 法的な根拠はないが、市民会館は規模も大きく特殊な建築物であり、PCBやアスベスト対策等の問題もあるため、しっかりとした設計により、解体工事を行う。

平成27年度

介護サービス事業 特別会計補正予算

Q 24時間訪問看護ステーション開設事業の内容は。

A 平成28年度から24時間対応可能な新体制に移行する。家族が在宅で主治医の指示書による処置をすることにについて、患者と家族が訪問看護ステーションと契約し利用していく形に再構築する。

平成27年度

市民病院事業 特別会計補正予算

●病院建設基本設計業務委託
債務負担行為

Q 基本設計後の変更に対する予算の余地はあるか。

A 地域や医師からの要望については、予算の範囲内で柔軟に対応していきたい。

Q 駐車場の立体化・有料化の考えは。

A 新病院建設の命題は、コストで高品質を目指すことである。



現在、教育委員会が入っている金谷庁舎

A 用途地域の問題があり、2階以上の立体化はできない。用途地域の変更が可能な検討している。駐車場の有料化も含め検討する。

その他

Q 金谷庁舎解体の新聞報道に対して、説明を求め。

A 平成29年度に金谷庁舎を解体する旨の記事に対し、本会議で市長が、「市がこうした発言をしたことはない。また取材等には話していない。」と、明確に答弁したとおりである。

ばらの丘公園の休園日を火曜日へ正式に変更

平成27年度 一般会計補正予算

●バス交通対策費

コミュニティバスの路線などを変更し再構築する中で、地域からの意見、特に個人病院へ通院する高齢者等への対応についても、今後の見直し課題である、と指摘した。



路線等が変更されるコミュニティバス

●災害復旧費

台風18号により被災した

林道家山線の復旧工事の日程は。

2月上旬に入札し、下旬から着工に入る。7月末に

完成予定で、迂回路は林道葛籠線を予定している。

支所設置条例と、消防本部及び消防署の設置等に関する条例の一部改正

金谷支所のエリア変更はあるのか。

変更はない。往還下地区の区画整理により、金谷の地名変更完了との解釈でよいのか。

往還下地区以外は、平成21・22年に全て変更した。

今回の変更で大字金谷、大字金谷河原はなくなる。

ばらの丘公園条例の一部改正

ばらの丘公園の休園日を月曜日から火曜日に変更した。月曜日が平日の中では最も多くの入園者が訪れる曜日である、という社会実験の結果は、市の類似施設にも波及するのではないかと。横の連携を図るよう意見が出された。



ばらの丘公園で誕生した品種「帯姫（おびひめ）」

指定管理者の指定（地区生活改善センターほか）

比較的小さな町内会の施設だが、土地は市有地か。一色・上河内地区生活改善センター以外は市有地である。

建物が老朽化する中、今後はどのように考えるか。通常の指定管理は3年から5年契約だが、今回は2年である。3年目は地元譲渡する方向で、協議を進めていく。

その他の報告

自治基本条例のアンケート内容は中立性を保つよう、意見が出された。また、自治基本条例に反対する内容のチラシに「広報しまだ」掲載の写真が転載されたことへの市の対応についても意見が出された。

一般管理費の person 費 7050 万円を増額した理由は？

平成27年度

一般会計補正予算

● 一般管理費

Q 一般管理費の person 費が 7050 万円の増額補正になっている。理由は何か。

A 企画総務部門を中心とした約140人の時間外手当の不足や、採用・退職によるものである。一般管理費は16の課から構成されているため、大きな金額となったが、他の費目では、person 費が減っている場合もある。

Q 選挙管理委員会の増額補正の理由は何か。

A 来年度から選挙権が18歳以上になることから、選挙人名簿を整備するためのシステムを改修するものである。

行政手続における特定の個人を識別するための番号(マイナンバー)の利用等に関する法律に基づき個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例

Q どの申請においても個人番号を書かなければ、窓口で受け付けないのか。

A 申請書については、基本的に個人番号の記載をお願いすることになるが、拒否されてもその申請書が無効になることはない。

被用者年金制度一元化に伴う条例改正

公務員等の共済年金制度が厚生年金制度に移行する。これを受け、条文を整理するよう条例を改正する。

税条例等の一部改正

Q この条例により納税者のメリットはあるのか。

A 今回の条例改正は、地方税法改正により記載が必要になったもので、条例化に関する納税者のメリットはない。

過疎地域における固定資産税の特例に関する条例

実績はあるか。

A 平成23年度と24年度で1件あった。平成25年度と26年度は対象は無かった。



島田市のロゴやカラーで魅力的なまちづくりを

行政組織条例の一部改正

Q シティプロモーション室の組織上の位置づけはどうか。

A 島田市のロゴやカラーを使った活動を積極的に展開し、認知度を高め魅力あるまちづくりを推進するために、課内に室を設置した。



ザッ 討論



新市民病院建設へ 新病院建設計画班が協議

市議会定例会最終日には、議案の採決が行われます。採決の前に、議案への賛成・反対の意見を議員が表明する「討論」を行っています。

11月定例会最終日（12月17日）には、3議案について延べ8人の議員が賛成・反対の討論を行いました。

【議案第85号】平成27年度病院事業会計補正予算

反対

軟弱地盤であることが明確にもかかわらず、詳細な地質調査が行われていない。基本設計に入る前に詳細な地質調査を行い、市民の不安材料を払拭すべき。事業費247億円の中に周辺導水路整備費など含まれていない整備を含めた予算を提示すべき。事業費縮減については「基本設計の中で検討を行う」と先送りしている。調査と説明をしっかりと行うべき。

賛成

新病院建設の構想は、平成21年度にはすでに示されていた。その後、街中の移転など紆余曲折があった。現体制での構想の内容は地盤の悪さの過小評価等々納得できないものであったが、これ以上の建設の遅れは、施設の老朽化による事故の発生や病院職員のやる気の低下を招く。地盤は技術で克服できる。市民が安心できる病院建設を早く推進すべきだ。

反対

新病院建設の基本計画について容認できない8点は、①建設費高騰の懸念。②関連経費の未確定。③地盤への不安。④健康長寿が不可能になる。⑤病院に金をかけすぎて新たな政策が打ち出せなくなる。⑥市民病院の本当の課題が建物にすり替わっている。⑦議案の出し方。⑧いびつな建物。大きな事業であるから妥協は許されない。

賛成

新病院の建設財源には有利な資金である合併特例債の活用が計画されていて、新病院の開院時期とも重なる平成32年度が適応期限であるため、ここでスケジュールが足踏みすることは、重大な財源不足を生ずる恐れがある。医師確保の点でも早期完成が必要と考えます。病院からの医師が離れる事を防止し、新たな医師を呼び込む上で追い風となるはずだ。

【議案第91号】市コミュニティバス条例の一部を改正する条例

反対

コミュニティバスの運賃をこれまでの100円を200円に、200円を300円に引き上げることに反対だ。利用者の多くは学生や高齢者、中山間地の市民などいわゆる交通弱者だ。運賃を安く抑えることによって、外出や通院等の機会を増やし、閉じこもりを減らし、地域住民が安心して元気に暮らせるまちづくりと住民福祉に寄与できると考える。

賛成

コミュニティバスは、導入以来これまで大きな見直しはされてこなかった。将来にわたり持続可能な公共交通として維持していくためには、路線やダイヤを見直し、より効率的な運行をするとともに、利用者にも応分の負担を求め、収支改善を図り、公費負担を少なくすることが必要。市民アンケートにおいても、76%の方が「200円までを容認する。」という結果が出ていることから賛成とする。

【議案第94号】指定管理者の指定（田代の郷温泉）

反対

田代の郷温泉施設の微細気泡発生装置は分からないことだらけ。メーカーに装置の技術的根拠を求めても無視する。空気の泡が水中で消えるとき超音波が発生するという科学的疑問。数々の疑問がありながら市は何も行動を起こさない行政への疑問。無責任にも問題解決を何もしないまま指定管理者に移行させる行政手法に、公正性を見出すことはできない。

賛成

当該事業者は、集客につながるメニューの提案と指定管理者導入による経済的効果、地元の団体との協力体制を事前に調整してある点などが評価されている。また民間ならではのアイデアにより、新たなサービスを展開することで、入館者が増加し、地域が一層元気になっていくことを期待し、賛成とする。

採決結果一覧（賛成・反対が分かれた3議案を掲載しています）

○=賛成 ×=反対	氏名	山本孝夫	森伸一	伊藤孝	福田正男	杉野直樹	横田川真人	佐野義晴	仲田裕子	大石節雄	村田千鶴子	曾根嘉明	平松吉祝	清水唯史	藤本善男	八木伸雄	青山真虎	桜井洋子	
	会派名	きよとう島田				桃李の会				魁しまた			創造島田		無会派				
平成27年度病院事業会計補正予算(第2号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	×	○	
市コミュニティバス条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
指定管理者の指定（田代の郷温泉）		×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※議長（紅林 貢）は採決には加わりません。（並び順は会派ごとの議席順）
 ※「無会派」とは、会派に属さない議員のことです。